

オイスカ女子野球部が中日を見学

オイスカ浜松国際高・女子野球部 プロ見学 練習のヒントに



中日ドラゴンズの公式戦を観戦するオイスカ浜松国際高校女子野球部の部員ら＝名古屋市で（エネジン提供）

オイスカ浜松国際高校（浜松市中央区）の女子野球部の部員らが、ナゴヤ球場（名古屋市）でプロ野球の中日ドラゴンズの練習や試合を見学した。LPガス販売のエネジン（浜松市中央区）が女子野球界を盛り上げようと企画したイベント。生徒らは球団のコーチからも話を聞き、今後の練習に向けたヒントを得た。

エネジンが企画

部員らは、中日ドラゴンズ2軍の練習やトレーニングを見学。球団のコーチやトレーナーから試合中に精神を落ち着ける方法や投球の際にコントロールを安定させるコツなどについて助言を受けた後、公式戦を観戦した。

同校3年の安里成海さん(17)は「プロは動きも雰囲気もレベルが全く違う。教わったことを取り入れ、チーム全体で意識してプレーしていきたい」と意気込んだ。（鈴木みのり）

オイスカ浜松国際高校の女子野球部が中日ドラゴンズの練習や試合を見学。男子野球部員が減少傾向にある中、女子の野球人口が増加している。静岡県西部では初となる女子硬式野球部のあるオイスカ高校を筆頭に、女子野球を盛り上げたい、と企画した。このような貴重な体験を通して、静岡からスポーツの楽しさを発信していく。

令和6年(2024年)5月19日(日) 中日新聞

